

霧ヶ峰基金会報

2009年2・3月号(通算28号)

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0061 長野県諏訪郡下諏訪町3236番地 Takafactoryさま2階

TEL 090 9668 3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



銀景色

雪が降ったことを知って、いてもたってもいられなくて、早朝の霧ヶ峰に向かいました。鈍銀色の雲の下に降りたての雪はふうわりふうわりと積もって、それはぴんと弦を張るようなシャープな緊張した冬の冷たい空気と対照的です。

この日、「ゴマ石山」で私を出迎えてくれたのは、なんと降り積もったばかりのヴァージン・スノー！

この景色と感触を独占しているようで、くすぐったいような申し訳ないような...。

でもうれしくて、「今度はホットワインで乾杯だ!」と、次の降雪を待っています。

エコプロダクト 2008 に行ってきました。

あけましておめでとうございます。本年も霧ヶ峰基金をよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人霧ヶ峰基金では、事業方針である「霧ヶ峰の自然保全が可能かつ現代にあった利用方法の再構築」、「霧ヶ峰のもつ資源の再発見」に資する「何か」を探すべく、2008年12月11日～13日に、(社)産業環境管理協会と日本経済新聞社の主催で開催されました『エコプロダクト2008』の視察に行ってきました。

10回目を迎える今回は、750の企業・団体、NGO・NPO、行政・自治体、大学・研究機関によるブースが立ち並ぶ過去最大規模の開催でした。開催規模が非常に大きく分野も多様でしたので、環境にかかわる動向と、霧ヶ峰に資する「何か」を合わせてご報告いたします。(理事長 小原宏文)

環境にかかわる動向

我が国が取り組むべく課題には「地球温暖化防止」、「循環型社会の構築(リサイクル社会)」、「生物多様性」などがあります(第3次環境基本計画)。

展示もこれらの課題に関しブースごとに多岐多様な提案の場でありました。



ハイブリットカー、ソーラー発電、家庭ごみのコンポスト化等、簡易二酸化炭素測定機材、身近なエコにかかわる発表から次世代エネルギーまでいろいろありました。体験型ブース、実験展示も多数あったこともあり、子供の見学者が多かった気がします。

一方、展示の大部分を占めた大手企業ブースでは、製造販売している機器の紹介と合わせ、製品・梱包軽量化による輸送に伴う二酸化炭素の削減、梱包にリサイクル資材を活用する等の企業としての環境貢献を紹介するブースが多数ありました。また、環境にかかわる取組を環境報告書にまとめて配布しているところもありました。こちらは大人の見学者が多かったです。

「生物多様性」に関しては各種官庁、NPO、研究機関等が関連ブースを多数出しており、生物多様性をわかりやすく体験、理解する環境教育、アウトドア、エコツアーのブースには工夫を凝らした展示をしていました。この分野も大手企業の支援が必要ですが、企業の参画はまだ少ないようです。企業の参画を促すため、もっと積極的な情報発信、交流が必要分野ではないかと思いました。

草原でバイオガス

2008年8・9月号の会報では草原の草でバイオエタノールをつくる技術の紹介をしましたが、バイオエネルギーの関係では、草等のバイオ資材からガスを生成する技術を紹介するものが目立ちました。プラントメ

ーカーの担当者は「技術的には従来からあったものであり、何をエネルギーとして活用するかによってプラントを設計します。」ということですが、世界情勢を反映し、次世代自動車のエネルギーを想定した技術提案を各社が行ったためだと思います。

バイオエタノールは植物性資材をエタノール発酵させエタノールをつくり、燃料として利用するものです。

一方バイオガスは気密性の高い発酵層で生産される、メタンあるいは水素を燃焼させ、そのエネルギーで蒸気タービン動かし発電をするものです。アメリカではもみ殻、イタリアではオリーブ滓、フランスでワイン滓によるバイオガス発電プラントがあるそうです。やはり、資材は混合物がないことが前提だそうです。



草原の草で壁

ポリエチレン系の接着材で木や草を固めた壁材の展示がありました。用途としては壁面、可動パネル等に使用されているそうです。霧ヶ峰の草でもできそうな気がします。



びっくりしたのは、「砂場」ならぬ古紙の「紙場」。大人は唖然とし、子供は遊んでいました。同じことが草でもできそうな気がしました。

最後に

霧ヶ峰に役立つ「何か」として、バイオ資材としての草の活用事例を紹介いたしました。エネルギーに関して言えば、半年前とは別の事例ができたことには驚かされました。技術の進歩、情勢に合わせ、事例の収集は今後も必要だと思います。

他の事例はかなり前衛的ですが、これを刺激にまた霧ヶ峰に思いをはせる材料になれば幸いです。



2008 年度活動報告会 開催のお知らせ

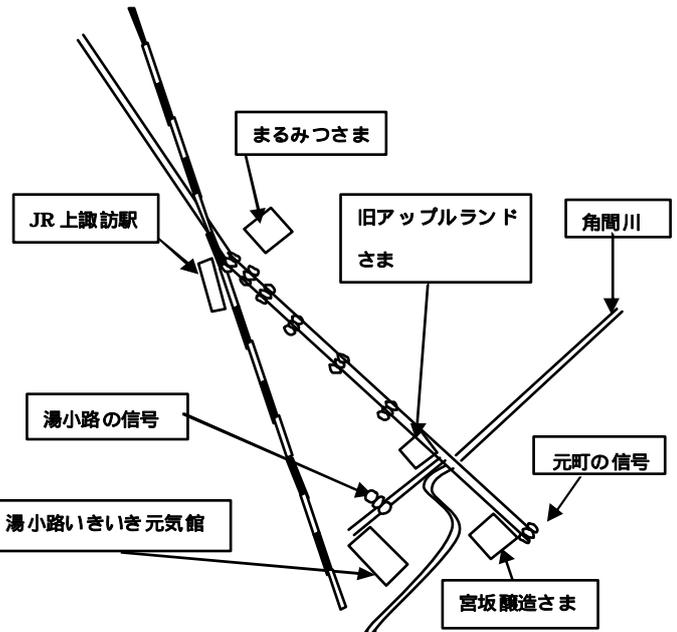
NPO法人霧ヶ峰基金では今年度実施いたしました各種事業を概ね予定通り行うことができました。環境保全事業ではモニタリングサイト1000の調査、登山道に関する提案検討、エコツーリズム普及事業啓発事業として各種委託ツアー、オリジナルグッズの販売、会報の発行等、通年を通し多岐にわたる活動を行うことができました。

これらは会員のみなさまをはじめ、関係各所の方々の並々ならぬご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

このたび初の試みとして、2008 年度の活動について報告会を行うことにいたしました。

2008 年度の活動の様子を、画像や資料等でご報告いたします。

お忙しいことと存じますが、多くのみなさまのご参加をお待ちしております。



記

日時 2009 年3 月29 日(日)
13:30~15:00 ころ
会場 諏訪市 湯小路いきいき元気館3階
(駐車場、温泉あり。温泉は別途 円)
内容 活動報告、パネル展示...など。
申込み不要、当日会場にお越しください。



旧御射山神社に初詣に行ってきました。



2009年1月2日(金) 霧ヶ峰で最も古い神社「旧御射山神社」に初詣に行っていました。

参加者は3名と、ちょっとさみしい一団でしたが、八島湿原駐車場から鎌ヶ池を経由で旧御射山神社へ。この日は積雪が少なめだったので、スノーシューは履かず、ブーツでの散策ができました。

少し雪の積もった草原には動物の足跡がたくさん。

「この丸っこい、梅の花みたいなのはタヌキかしら？」

旧御射山神社で新年のあいさつと今年の活動の安全をお祈りして、お昼ごはん&甘酒パーティ!

のどかな陽だまりのパーティにココロも体もほかほかあったまったのでした。

(担当: 降旗香代子)

車山湿原北側登山道のぬかるみ対策についての提案とその後についてのご報告

(副理事長 藤田香)

NPO 法人霧ヶ峰基金では、天然記念物霧ヶ峰植物群落のひとつである車山湿原の管理者に当たる諏訪市教育委員会生涯学習課に対して、登山利用者や当会会員からの「その対策について講じて欲しい」との要望のあった、車山湿原北側登山道のぬかるみ対策についての提案を行い、その経過や内容については、事業計画として本年度の通常総会にて事業として採決を受けました。また、会員の皆様には会報 2008 年 4 月号ならび 8・9 月号にてご報告をいたしました。

ご報告以降、改めて、教育委員会に対して車山湿原北側登山道のぬかるみの箇所を示す地図と、それぞれの地点での歩行が困難になっている状況を報告書として提出をし、今後の登山道整備についての方向性の確認を行いました。

本報告書と提案については、教育委員会側でも迎合され、「本年度の公園管理計画に取り入れることができる可能性があり、できれば「すのこ状木道」の整備をこの秋頃には行いたい」との意向がございました。また、提案後において、設置に当たっては、教育委員会と当法人との協定を締結する必要があり、協定内において「設置後についての「すのこ状木道」の管理とその効果の有効性の検証を実施し、定期的に報告を行って頂きたい」との要望があり、その内容について確認を行いました。確認をした項目としては以下の通りです。

・ 定期的巡回（1ヶ月に1度）

1. 損傷、破損等の確認（主に目視）
2. 設置箇所の適合（冠水、ぬかるみ等）
3. 木道の移動（履歴記録） ぬかるみ箇所等の状況が変化した際は、その対応箇所に移動を想定
4. 事故（歩行者のけが、木道の破損）の有無
5. 画像による記録
6. 映像による記録

・ 臨時巡回（異常気象時、事故発生時） 定期巡回項目に加えて、応急処置をとる

・ 検証

設置記録（設置前、後の画像、写真記録）

1年に1回のまとめ

- ・ 植生の回復、歩道外の踏み込み
- ・ 本体の損傷状況
- ・ 設置箇所の再検討

・ 次年度の管理計画

個別に管理表を作成し、記入する。

その後、教育委員会では整備に向けて、地権者を含む関係する部局などとの調整を図りましたが、「『すのこ状木道』を設置したことについての事故等の責任問題や、登山道が諏訪市の市道になるため、道路としての管理責任の所在について明確にすることが難しい場が生じる」との見解がございました。また見解後、設置についての可能性の協議を何回か行いましたが「恒久的構造物に当たる木道を設置することを優先とし、仮設的な構造物に当たる『すのこ状木道』の設置は現段階では相応しくない」との判断が教育委員会あり、残念ながら、設置することを断念することに至りました。

結果的には、今年度「すのこ状木道」の設置は行えず、今後も同様の方法において木道の整備を行うことは不可能となりました。そのため、当年度の事業計画である「登山道の補修・応急措置、その方法の開発・試行・評価」中断することとなりました。

教育委員会からは、当面木道が敷設されるまでの間に「ほかに有効的な、すのこ状木道に代わる登山道の補修の有効的な手段の検討」を共同で行うこと、「車山湿原、八島ヶ原湿原の木道の定期的な巡回」についての協力を求められております。

当基金では今後、教育委員会からの協力の求めに対して、天然記念物の保護と文化財保護の観点を踏まえて、登山道の歩行が困難になる箇所の観察と、利用状況の情報を収集し、定期的巡回を実施するとともに、ほかの登山道や、すでに使用されている木道の破損等の状況を関係機関に情報提供と報告を行うことを検討しております。具体的な実施の方法や、その内容については今後、さらに検討を要することとなりますが、今後も引き続いて、車山湿原北側登山道のぬかるみの状況や、木道などの破損している箇所等についての情報を、会員の皆様からもお寄せ頂きたいと思っております。

いつもご支援ありがとうございます。

寄付金(2008年11月1日~12月31日)を20,000円いただきました。

これらのご寄付は活動を通じて霧ヶ峰の環境保全とエコツーリズムの推進に活用されます。

【ご寄付くださった方々】 西村さま(諏訪郡)ほか

霧ヶ峰基金は活動の趣旨にご賛同して下さる方の寄付金を、随時受け付けております。

金額は1円以上から、下記の郵便口座までお願いいたします。

全国の郵便局からいつでもお手続きいただけます。(手数料はご負担ねがいます。)

・口座番号 00520-7-44684

・加入者名 特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

ご寄付をいただいたかたのお名前の取り扱いについて

2008年4月より寄付金をいただいたかたにつきまして、金額等に関わらずご本人様が希望されない場合を除き、会報上にてお名前をご紹介します。あらかじめご了承ください。(お名前のご紹介を希望されない方は、その旨をお知らせください)

活動記録(2008年11月1日~12月31日)

11月	1日	・信州・諏訪温泉泊覧会「ズーラ」プログラム催行
	2日	・受託ツアー催行
	6日	・諏訪アライアンスプロジェクトさいか(上諏訪会場) うちあわせ
	16日	・情報収集(霧ヶ峰高原)
	19日	・諏訪アライアンスプロジェクトさいか(全体会) うちあわせ
	22日	・「モニタリング1000」水環境調査
	23日	・会報2008年12・2009年1月号発行
12月	6日	・「エコプロダクツ2008」視察(東京都) ・情報収集(霧ヶ峰高原)
	13日	・情報収集(霧ヶ峰高原)
	15日	・諏訪アライアンスプロジェクトさいか(全体会) うちあわせ
	18日	・諏訪アライアンスプロジェクトさいか(上諏訪会場) うちあわせ

(2008年12月末日現在) 個人特別会員44名 個人一般会員65名 法人会員3団体 正会員10名

オリジナルグッズ、好評販売中です。

草原に咲く花を集めたポストカードに、オリジナルデザインの「かまわぬ」製日本手ぬぐい。

使い勝手のいいにだわりのグッズです。お手元でどうぞご愛用ください。通信販売もしています。

【オリジナルポストカード】

5種各1枚入り 450円

ニッコウキスゲ、マツムシソウ、
クリンソウ、アヤメ、コウリンカ

【オリジナル日本てぬぐい】

各1枚 1,200円

右から「月夜の霧ヶ峰」

「紅輪花」

「アカバナシモツケ」



<通信販売のご案内>

郵便局に備え付けの払込票でお申し込みください。

通信欄にご希望の商品名と個数、お届け先の住所、氏名、電話番号をご記入ください。

・配達日時指定及びギフト包装はいたしかねます。また、日本国内の配達に限定させていただきます。

・白い会員証をお持ちの個人会員(含家族会員)さまおよび法人会員さまは商品を1割引でご購入いただけます。通信欄に会員番号をご記入ください。

商品代金に加えて発送手数料300円を以下の口座にお払い込みください。(払込手数料はお客さまのご負担をお願いいたします)

加入者名 NPO法人霧ヶ峰基金 口座番号 00520-7-44684

入金確認後、1~2週間以内に商品を発送いたします。普通郵便またはクロネコヤマトメール便でお届けいたします。

<ご注意>

・返品、お取替えは商品到着後1週間以内にご連絡ください。不良品はお取替えいたします。

・お客さまのご都合による商品のお取替えや返品の場合は送料のご負担をお願いいたします。商品代金はお客さまご指定の金融機関口座に振込手数料と発送手数料を差し引いた金額をお返しいたします。

・オリジナル手ぬぐいは1枚1枚職人の手染めでございます。若干の色ムラやずれがある場合がございますが、手作りの風合いとしてお楽しみいただけましたら幸いです。

NPO 法人霧ヶ峰基金の活動を支援して下さる法人会員のみなさまです。



株式会社エルシーブイさま



株式会社永田製作所さま

株式会社クリンビー

株式会社クリンビーさま

NPO法人霧ヶ峰基金は活動を支援して下さる企業・団体さまのご入会を随時受け付けております。お問い合わせはNPO法人霧ヶ峰基金事務局 (e-mail kirigamine.kikin@gmail.com.) にて承ります。

【会員の皆様へ】 第7回ツキイチ定例会 雪のはらを歩こう！のお知らせ

お正月は積雪少なめでした。「でも雪の上をどーしても歩きたい！」ということで、2月はリベンジ(?)企画です。お友達やご家族、入会ご希望の方も歓迎です。

日時 2009年2月7日(土)
八島ヶ原湿原をぐるりと1周歩きます。

集合 午前9:00
霧ヶ峰高原強清水・霧ヶ峰スキー場駐車場
(公衆トイレの近くにお集まりください。)

持ち物 長靴または防水シューズ、
(場合によってはスノーシュー) スパッツ、
帽子や手袋など防寒具、ゴーグルまたはサングラス、
お昼ご飯、あったかい飲み物など。
(紫外線対策をお忘れなく！)

参加費 無料(傷害保険加入済み)

お申し込み 2009年2月3日(火)までに事務局へお申し込みください。



ご参加にあたって

- ・服装など装備が不十分で参加者の身に危険が及ぶことが予測される場合には、参加をご遠慮いただく場合がございます。スノーシューのレンタル等はございません。(ご相談承ります。)
- ・木道の歩行が危険であると判断される場合には、催行を中止いたします。また、悪天候が予想される場合やピーナスラインの車両通行が困難または著しく危険とされる場合には催行を中止いたします。
- ・集合やお帰りの際のお車の運転に関しましては十分お気をつけください。主催者では責任を負いかねます。

「諏訪地域をもっともっと楽しくしようよ！」を、キーワードに個人や団体が緩やかにつながったアライアンスプロジェクト「さいか」が、湖周をぐるっとつなぐ連携イベントを企画。今年も上諏訪会場(スワプラザ3階)で出展します。詳しくは同封のパンフレットをごらんください。

「スワイイチ」公式サイト <http://www.saika-suwa.com/suwaichi/20090228/>

「お菓子：をかし(面白い)」を共通テーマに、岡谷、下諏訪、上諏訪、茅野、富士見の各会場に、「をかし」なイベントと自慢のお菓子・逸品が盛りだくさん。各地区のイベント会場を臨時列車「スワイイチ号」がつなぎます。自分達の街にある以外と知らなかった楽しいこと、美味しいものを発見できるはず!

<お願い> ・会場にはできるだけ公共交通機関を利用してお越しください。 ・お買い物袋をお持ちください。

編集後記 「雪だ、雪だーあ！」一面の雪のはらを見ると、うれしくなります。「でーん！」と寝転がってみたい、埋もれてみたい! ふかふかのパウダースノーならなおのこと、沈んでうまく歩けなくなるとめっちゃくちゃ楽しい! 絶対絶対たのしいよ! って、騒いでいたら...あら? 雪かきを仰せつけられました
でも、雪かきも大スキです、わたし。あの達成感にシビれます。「ねー、こっちも雪かくのー?(わくわく)」「(か)」

次号 2009年4・5月号は2009年3月下旬発行です。